

# 北大の2氏に助成金 資生堂の女性科学者支援



間石奈湖助教 西村有香子助教

大手化粧品メーカーの資生堂は24日、次世代の指導的役割を担う女性研究者を

支援する「第14回サイエンスグラント」の授賞式をオンラインで開いた。受賞者10人のうち、道内関係では北大遺伝子病制御研究所の西村有香子助教(47)と細胞生物学Ⅱと、北大大学院歯学研究院の間石奈湖助教(38)と腫瘍生物学Ⅱが選ばれ、それぞれに助成金100万円が贈られた。

今年1月から現職。細胞は周囲から受ける力を感じているとされ、がん細胞の多くはこの感知メカニズムに異常があると考えられている。西村さんは、この仕組みを解明することで、細胞のがん化を抑えられると考え、研究を続けている。受賞スピーチで「生命における力の役割について解明したい」と語った。

間石さんは大阪府出身。北大大学院などを経て、2019年4月から現職。がん栄養を供給する血管の特性やメカニズムを解明することで、新しいがんの診断薬や治療薬の開発を目指している。「大変光栄。研究はもちろん、学生の教育や臨床業務にもまい進したい」と抱負を述べた。

資生堂は、08年から自然科学分野の女性研究者を対象に助成している。

(小沢弘和)

で、東大大学院などを経て